



英国王室に咲く ボタニカルアート と ウェッジウッド ～植物画のおいたち～

2025.

7.20 sun.

— 8.31 sun.

高岡市美術館

9:30～17:00

(入館は 16:30 まで)

※7/20は 10:30 から開場

休館日／月曜日(祝日の場合は翌平日)

観覧料／一般1,200円(前売・団体・シニア900円)、高大生800円(団体640円)、中学生以下無料

※料金の詳細は当館ホームページでご確認ください ※「孫とおでかけ」支援対象事業

主 催／高岡市美術館〔(公財)高岡市民文化振興事業団〕

共 催／高岡市、富山テレビ放送 協 力／フィスカース ジャパン株式会社

後 援／ブリティッシュ・カウンシル、富山県、高岡市教育委員会

企画協力／株式会社プレントラスト

【図版(左上より反時計回りに)】ピエール・ジャン・フランソワ・テュルバン《イヌバラ(バラ科)》1816年/シデナム・ティースト・エドワーズ《ミモザ・アベスケンズ(マメ科)》1810年/ゲオルク・ディオニシウス・エーレット周辺の画家《ダリア(キク科)》おそらく18世紀/ピエール・ジャン・フランソワ・テュルバン《アーティチョーク(キク科)》1814年/《イリス・ペルシカ(アヤメ科)》1790年(初版1787年)/シデナム・ティースト・エドワーズ《ドイッスラン(キジカクシ科)》1812年/《ヘレボルス・ニゲル(クリスマスローズ)》(キンボウゲ科) 1790年(初版1787年)/フリードリッヒ・ゴットロープ・ハイン《アドニス・ウェルナリス(キンボウゲ科)》1805-37年/ウェッジウッド《蓋付き壺(メダイオン付き)》1861年頃
以上すべてPhoto Brain Trust Inc.



英国王室に咲く ボタニカルアート と ウェッジウッド ～植物画のおたち～

英国では1760年代に即位したジョージ3世と王妃シャーロットの治世に、世界各地の植物収集や国内の庭園整備などを王室が支援したことで、植物学が大いに隆盛しました。それに伴い、貴族や新興市民がパトロンとなって美しい植物図譜が次々と刊行され、植物画（ボタニカルアート）が発展しました。

本展では、1787年創刊の『カーティス・ボタニカル・マガジン』をはじめ、科学と芸術が融合したボタニカルアートを様々なテーマでお楽しみいただきます。一方、王妃は1759年に創業したウェッジウッド社を庇護したことで知られます。クイーンズウェアの称号を与えられたクリームウェアや、ジャスパウェアの名品を中心とする美しい陶磁器もあわせて展示し、18世紀から19世紀にかけて大きく発展した英国の一面をたどります。



1. ウェッジウッド《ポートランドの壺》19世紀（1790年デザイン）
 2. ヨハン・ゾファニー《シャーロット王妃の肖像》1772年
 3. ウェッジウッド《蓋付き深皿（クイーンズウェア）》1765-95年頃
 4. デービー《蓋付きカップ&ソーサー》1800年頃
 5. シデナム・ティースト・エドワーズ《ボタンの栽培品種（ボタン科）》1809年
 6. シデナム・ティースト・エドワーズ《イクシア・チネシス（アヤメ科）》1792年
 7. フィリップ・ライナグル《ペゴニア（シュウカイドウ科）》1800年
 8. 《ライラック（モクセイ科）》1793年
 9. ビエール＝ジョゼフ・ルドゥーテ《バラ（クレモンティーズ）（バラ科）》1843年
 10. シデナム・ティースト・エドワーズ《パンクラティウム・アマンカス（イヌメンバマンカ）（ヒガンバナ科）》1809年（背景）バウントニー&ゴールドニー《大皿「プリストルの眺望」》1836-49年頃
- 2,4-10.背景=Photo Brain Trust Inc.
1,3=Photo Michael Whiteaway

特集展示「富山の植物画」



富山藩で制作された植物図譜の貴重書や、石崎光瑤の描いた高山植物のスケッチなど、富山ならではの植物画の特集展示もあります。

『本草通串証図』第2冊より（富山県立図書館所蔵）

【関連イベント】

1. 講演会「英国ボタニカルアートの歩み」

日時／7月20日（日）14:00～15:00
会場／地階ビートホール
講師／大場秀章氏（本展監修者・東京大学名誉教授）
※参加無料、定員80名（当日先着順、事前申込不要）

2. ボタニカル展をもっと楽しむ！夏のアフタヌーンティーパーティ

担当学芸員が本展の見どころを30分程度ご紹介した後、アフタヌーンティーをお楽しみいただけます。
日時／7月25日（金）14:30～16:30（L.O.16:00）
会場／ホテルニューオータニ高岡14階
トップレストラン フォーシーズン
参加費／3,500円
※事前申込制、定員50名（定員になり次第締め切ります）

お申込みはこちら
（6/20より受付開始）



3. 担当学芸員によるギャラリートーク

日時／8月24日（日）14:00～14:45
企画展示室1にお集まりください。
（要観覧券、事前申込不要）

4. ワークショップ

「植物モチーフのモビールを作ろう」

日時／8月毎週金曜日（全5回）
各日13:00～16:00
会場／地階エントランス
参加費／1回につき100円
※事前申込不要

※上記すべての関連イベントの詳細については当館HP、SNSでご確認ください。

【交通のご案内】

- 北陸新幹線・新高岡駅より
○タクシー約10分
 - 高岡駅より
○徒歩約20分（北東約2km）
○JR氷見線「越中中川駅」より徒歩2分
○万葉線「広小路」「志貴野中学校前」電停下車、徒歩10分
○富山地鉄バス「富山駅前」「中川」下車、徒歩2分
 - 自動車
○能越自動車道：高岡北ICから約15分、高岡ICから約20分
○北陸自動車道：小杉ICから約20分、高岡砺波スマートICから約20分
- ※高岡市美術館地下駐車場は、2時間まで駐車料金無料、高岡文化の森駐車場（屋外）は駐車料金無料



【観覧料】

- 一般 1,200円（前売・団体・シニア900円）
- 高大生 800円（団体640円）
- 中学生以下 無料

※団体は20名以上、シニアは65歳以上。身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育など各種手帳をお持ちの方および付き添いの方（1名）は観覧料半額（手帳あるいはミライロID提示）。

【前売券販売所】 ※一般のみ

高岡市美術館ミュージアムショップ、アーツナビ（富山県高岡文化ホール、新川文化ホール、富山県教育文化会館、富山県民会館）、高岡市生涯学習センター（ウイング・ウイング高岡3階）、画材たんぼ、富山大和5階チケット売り場



公益財団法人 高岡市民文化振興事業団
高岡市美術館
TAKAOKA ART MUSEUM

〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号
TEL:0766-20-1177 FAX:0766-20-1178
https://www.e-tam.info

当館の情報を発信しています

